

## まちびらき20周年事業

- 地域の連携や一体感の醸成  
(住民、立地企業、学校、行政)
- 多様な資源を活かした魅力の向上
- 一過性ではなく将来のまちづくりへの継続

49

## 連続ワークショップ (6回)



夢のナイトパーティ (8/11~12)  
てくてく★ブラテクノ (9/4)  
テクノ秋の里山パーティ (10/7)



テクノまちのみらいこどもワークショップ (11/8、22)



夏祭り 住民有志(光都ふるさとプロジェクト)が主催  
700人が集まった



夏祭り 自治会、県立大学生、インターリスクールとも協働



第1回テクノジャズフェスティバル(340人参加)  
地域(3Mプロジェクト協議会)主催、地元ゆかりの若手ミュージシャン出演



増設サッカー場内覧会(1,000人)  
自治会・学生・企業対抗のグラウンドゴルフ大会



**増設サッカー場内覧会**  
合宿所では、県立大学生の演奏・ゲーム大会



**西播磨ふれあいの祭典** 14の出店ブース (32,000人)



**ふれあいリハフェスタ in 西播磨2017** (1,200人)  
ASハリマアルピオンのステージ



**観光ツアー** (姫路鳥取線、街並み、Spring-8)  
120名参加 (40名×3回 満員御礼)



**観光客は星の広場から光都を臨む**



**世界的に有名な建築家の建築物**



**自然豊かな環境：チューリップ園、コスモ園**



**(20周年事業参加者の感想)**  
わくわくしてきた  
元気がでた  
何か変わっていきそうな予感  
多くの人と関わり、予想を上回る結果

**より輝くまちに向けて(ワクワクする取組)**

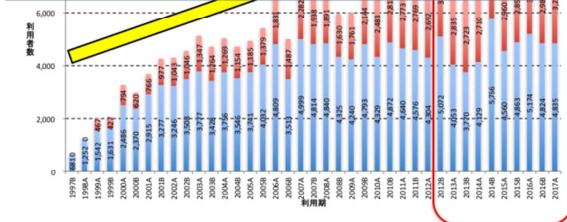
- SPring-8の次世代計画が進捗
- H32年度姫路鳥取線供用
- 道の駅及び路外パーキングの設置
- サッカー場増設・合宿所新設
- **更なる交流人口の増加**
  - ・土地利用計画の見直し
  - ・自動運転の導入検討
  - ・都市インフラの適正規模の検討
  - ・播磨科学公園都市圏定住自立圏



SPring-8共用ビームライン、専用ビームライン  
延べ利用者数

年間1.6万人

利用しやすくなり増加傾向  
SPring-8内に収容できない日も多く発生  
海外からの来訪者も多い  
→ 近くに泊まるところが少ない、遠方へ  
12/11～15 ISSP国際ワークショップ約100名(神鍋へ)



SPring-8/SACLA施設公開6,500人参加  
予約見学ツアーを含め年間1万4千人→周遊はしない



中国横断自動車道「姫路鳥取線」の延伸(H32開通)

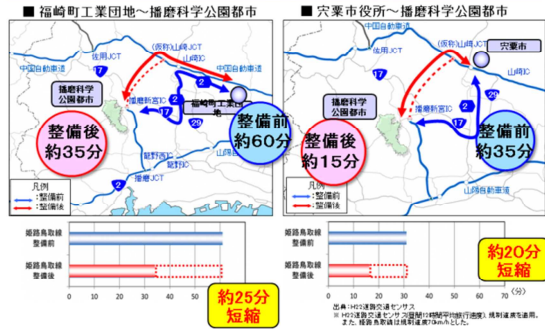
路線名：姫路鳥取線(播磨新宮IC～山崎JCT(仮称))  
延長：11.4km  
車線数：暫定2車線  
計画交通量：H42計画交通量 約5,600台/日+α  
(既供用区間 現況H28交通量 約1,300台/日)



「姫路鳥取線」が  
延伸され、  
「山陽自動車道」  
と  
「中国自動車道」  
が連結

姫路鳥取線 アクセスの向上

- ・福崎町工業団地から播磨科学公園都市 約25分短縮
- ・宍粟市役所から播磨科学公園都市 約20分短縮



**H3 2年度姫路鳥取線全線供用に併せ  
道の駅及び路外パーキングの設置を検討  
高速から降りたくなる魅力ある施設**



**道の駅では有機農野菜を売りに（週3日→5日販売）  
体験観光型有機農園、都市内里山資材を堆肥化**



**播磨光都サッカー場  
11面(4面増設(H29,10))  
合宿所新設**

**利用者は  
11万人が20万人に**

- ・女子大西日本大会
- ・学生・社会人年代別リーグ戦
- ・J加大会規模大会

148名の宿泊では不足？

**交流人口の予測**

|               | H28          | H30          |
|---------------|--------------|--------------|
| サッカー場         | 110千人        | 200千人        |
| 西播磨総合リハビリセンター | 65千人         | 65千人         |
| イベント          | 45千人         | 45千人         |
| ひょうご専修学校      | 22千人         | 33千人         |
| オプトピア         | 21千人         | 21千人         |
| <b>合計</b>     | <b>263千人</b> | <b>364千人</b> |

交流人口：550,000人→650,000千人+α(H30以降)  
 交流人口の内、宿泊する人：90,000人→100,000人  
 内25,000人は、宿泊所不足により都市外で宿泊  
 海外からの研究者が、都市内ではなく遠方に宿泊  
 都市内にゆったりくつろげる場所は？  
 ※昼間人口：5,961人 昼夜間人口比率4.2(東京港区並)  
 (1101人増)

**土地利用計画の見直し  
交流人口の更なる  
増加に向け**

ホテルの立地を想定し、「工業地域」→「準工業地域」

大型商業施設の立地を想定し、「第1種中高層住居専用地域」及び「第2種住居地域」→「近隣商業地域」

増設サッカー場の整備完了を踏まえ、「工業地域」→「準工業地域」

**アーバンデザインへの対応**

主な規制内容

- ①外壁の後退距離
- ②高さ制限(アーバン斜線)
- ③幹線道路への出入口設置

**街の中心まで2.8km  
街中の移動手段の確保が必要**

**自動運転の導入検討**

- ・拠点施設までのアクセス手段
- ・科学技術都市にふさわしい最先端技術
- ・道路は広幅員で導入しやすい環境
- ・高齢ドライバーの安全確保

自動運転車(レベル4)の仕組み

**全体を3工区の中で、第1工区のみ事業着手  
25年以上が経過、老朽化施設が増加傾向  
都市インフラの適正規模を検討**

土地利用率計画図

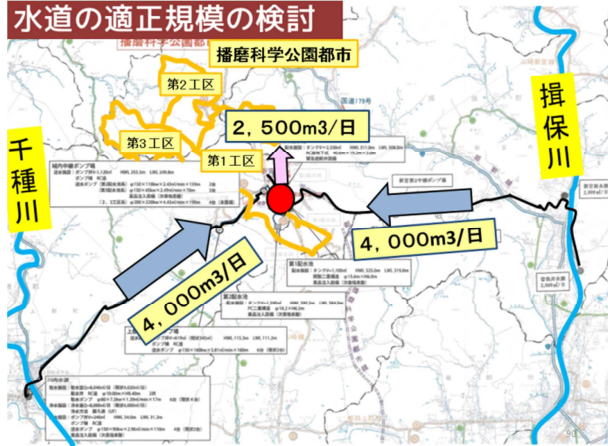
第1工区  
面積：960ha  
人口：5,100人

第2工区  
面積：960ha  
人口：5,100人

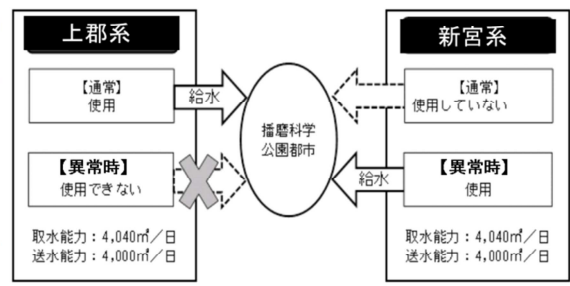
第3工区  
面積：960ha  
人口：5,100人

全工区  
面積：2,010ha  
人口：25,000人

### 水道の適正規模の検討



### 上水道の適正規模の検討(持続可能なまち)



当初計画(4,000m<sup>3</sup>/日 × 2系統)は、人口25,000人規模を想定  
施設や設備が建設時から25年以上経過、耐震化や老朽化対策が必要

光都は3市町に  
分かれている

【課題】

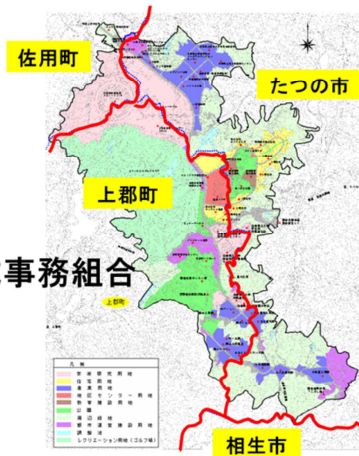
- 協働・連携
- 一体感



播磨高原広域事務組合

【所掌事務】

- 小中学校
- 上下水道
- 木戸口公園 等



### 播磨科学公園都市圏域定住自立圏(H28.3~)



